

# オーストラリア総選挙、与党と市場に奇跡的な結果？

## Insights from UBS Asset Management

### ポイント

- ・5月のオーストラリア総選挙は、事前の劣勢報道を覆し、モリソン首相が率いる与党が予想外の勝利
- ・経済抑制に繋がる労働党の政策よりも、与党の実績と幅広い減税案が有権者に支持された模様
- ・豪ドルにおいては、米中貿易戦争やRBA利下げへの思惑が強いものの、与党の勝利は豪ドル高要因と見られる

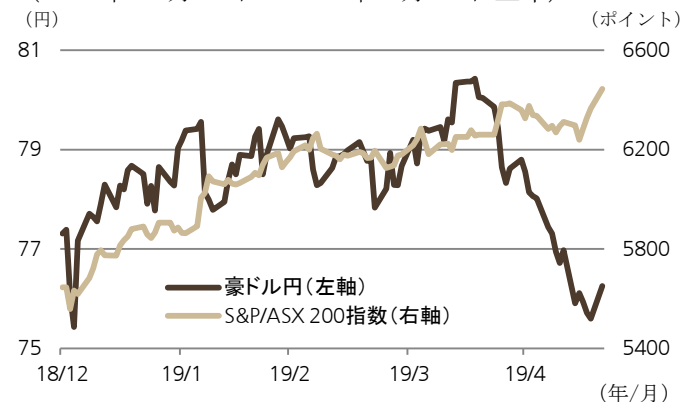
### 劣勢報道を覆し、与党が総選挙で勝利

- ✓ オーストラリアで18日に即日投開票が行われた連邦議会総選挙で、与党保守連合（自由党・国民党）が、定数151の下院議会で77議席を確保する公算が高い（現地メディア）と報じられ、3期連続の政権維持が確実となっています。
- ✓ 保守連合は、世論調査では劣勢が伝えられたものの、有権者から再び経済運営を託されることになりました。モリソン首相は19日に行った勝利宣言で、「いつも奇跡を信じている、選挙結果がまさにその奇跡」と述べ、この総選挙も英ブレグジット投票、米大統領選に続き、事前の大手調査会社の世論調査に反する結果となりました。
- ✓ 一方の労働党は、低所得者向けの減税や最低賃金引き上げ、積極的な温室効果ガス削減、不動産・株式投資家向け優遇措置の縮小などの政策を掲げたものの、経済運営の実績や全般的な減税、財政黒字化などを訴えた与党を政権の座から引きずり下ろす好機を逸しました。
- ✓ オーストラリアの景気拡大は約28年続いていますが、住宅市場の落ち込みや米中貿易戦争の激化で景気が脅かされる中、継続を訴えるモリソン首相に支持が流れたと見られています。

### 選挙結果を受けた市場の反応

- ✓ 選挙明けの20日、豪ドルは対米ドルで先週末の0.687ドル前後から一時0.6938ドルへ、対円で先週末の75.6円前後から76.36円へ上昇しました。株式市場においても、オーストラリア株は一時1.5%を超える上昇となり、選挙結果を好感する動きとなっています。
- ✓ 市場では、労働党が住宅投資の損失控除（ネガティブギアリング）やキャピタルゲイン課税控除の縮小など経済活動抑制につながり得る政策を掲げていた一方、保守連合は労働党と比べて幅広い減税案を示してきたことから、保守連合の勝利は豪ドル高要因と捉えられています。

■豪ドル円及びオーストラリア株価の年初来の推移  
(2018年12月31日～2019年5月20日正午)



出所：リフィニティブ

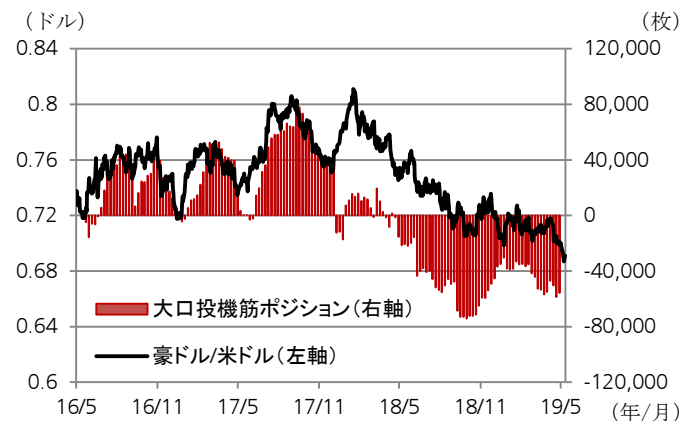
## 今後のオーストラリア経済・豪ドルの見通し

- ✓ モリソン豪首相の与党連合が過半数確保するとの見通しが強まっており、最終結果で過半数議席に達すれば豪ドル高圧力が強まる可能性が指摘されています。
- ✓ 与党の勝利により、豪連邦政府が5月に発表した新年度予算案が実行に移されることとなります。市場はこの予算案を野党優勢の報道を背景に、過小評価してきたため、今後はその経済効果が再認識され、評価が強まると見られます。
- ✓ 2019/20年度連邦予算案(4月2日に発表)において、豪州政府は学校や病院などの特定の目的に583億豪ドル、一般歳入補助金691億豪ドルと合わせて1,274億豪ドルを州に拠出すると発表しました。政府は今後10年間で、所得税減税では、低・中所得層を対象に総額1,580億豪ドル規模の追加減税を計画し、インフラ向け拠出額では1,000億豪ドルへ引き上げる方針を示しています。
- ✓ 更に、現政権の経済運営が評価され、予想外の選挙結果に繋がり、政治リスクが後退したことを受け、オーストラリアの消費者や企業のセンチメントも改善に向かうと期待されます。消費者・企業信頼感の改善は、最終的に雇用の押し上げなど豪州経済にとってプラスであると共に、豪ドルの下支え材料になると思われる。

- ✓ 豪ドル相場を巡っては、足元、米中貿易戦争の帰趨やRBA利下げ期待の変化の方が重要な変動要因となっていますが、投機筋の豪ドル売りのポジションが積み上がっている中、買戻しの動きが進みやすい状況にあると思われます。
- ✓ RBAは、労働党の政策が回避され、住宅市場に対する懸念が後退したことを受け、早期に利下げに舵を切らずに、様子見姿勢を取る可能性も出ています。市場の利下げ期待の剥落が進む展開となれば、更なる豪ドルの追い風となります。

### ■豪ドル/米ドル、投機筋ポジションの推移

(豪ドル/ドルは日次、2016年5月19日～2019年5月20日、投機筋ポジションは週次、2019年5月14日時点まで)



出所：リフィニティブ

上記のデータは過去のものであり、将来の動向を示唆、保証するものではありません。

商号：UBS アセット・マネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第412号

加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

本資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、信頼できると考えられる情報をもとにUBSアセット・マネジメント株式会社によって作成されておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。本資料に記載されている内容・数値・図表・意見・予測等は、本資料作成時点のものであり、将来の市場動向、運用成果等を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。

© UBS 2019. キーシボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。